



## 日本共産党市会議員

# 野口あけみ

活動だより

8月30日から始まった9月定例市議会が10月3日閉会しました。

党議員団は、議会に先だって市長に提出した511項目の「新年度予算要望」を実現させるため、前年度決算審査でも奮闘しました。

また、党議員団が提案した、国民健康保険の財政基盤強化を国に求める意見書は全会一致で採択されました。

自宅今津野田町

4-18

0798(34)7329

控室

0798(35)3368

2019.10月

(No.117)

## 公民館、市民館など値上げ案 「続々審査」に あまりに拙速！

条例案が提案されましたが、日本共産党議員団、政新会（自民党）、会派せんしん、維新の会などが、説明不足、拙速」として、「続々審査」としました。公明党、市民クラブ改革は値上げ案に賛成の立場をとりました。

この突然の値上げ案は、5年前に包括外部監査人から施設ごとにばらばらの使用料基準を統一すべき。施設を利用する者としない者との公平のため、利用する受益者に応分の負担を求める受益者負担を徹底すべき」との指摘を

受け、今年7月、市が西宮市施設使用料指針を作成。これに基づいて提案されたもの。施設維持にかかるコスト（大件費や管理費など）を明らかにした上で、施設の種別ごとに定めた受益者負担率を乗じるという算定方式を用います。例えば公民館や市民館は負担率25%、ホール50%。プールやテニスコートは民間類似施設あり等の理由で75%100%とされています。

また、値上げの際には現行使用料の1・5倍を上限として3年ごとにコストを見直して段階的に定めた負担率をめざすとしています。

市民館は今回平均1・36倍の値上げ提案でしたが、受益者負担率は、値上げ前の8・9%から9・62%に高まります。しかし利用の半分は町内会など減免団体であり、25%をめざすとなるとその他の利用者から現行料金の5・6倍を徴収することに。とんでもない値上げを食い止めなければなりません。

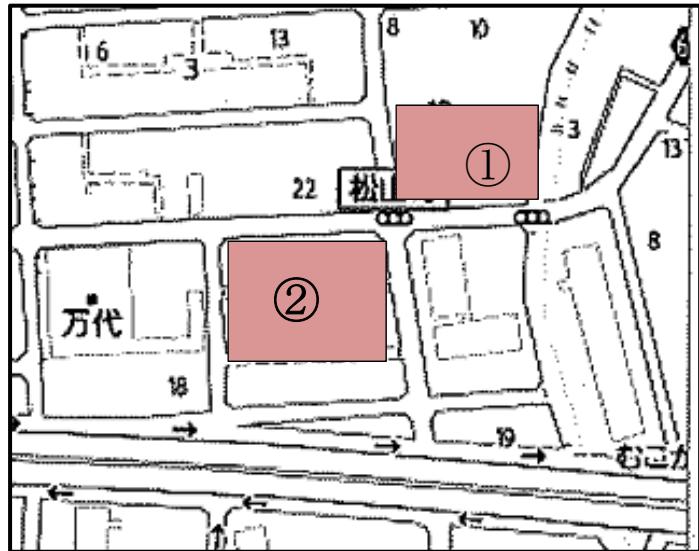
## 統合病院基本計画骨子案 580床、3診療科新設へ

今年1月、県と市が基本協定を結び「統合」が決定した県立西宮病院と市立西宮中央病院。今年度中の基本計画策定に向け、このほど骨子案が発表されました。それによると中央病院に

ある回復期病床49床をなくし、脳神経内科、精神科、心臓血管外科を新設、入院日数の短縮なども見込んで、現在の稼働床593床から580床に変更する案となっています。

また、基本計画には中央病院跡地活用も盛り込むことになっており、「跡地における医療活用検討懇談会」が設置され、隣接自治会、老人クラブ、診療所等の意見を聞くとしています。

# 何ができるの? この空き地



左地図①のJR独身寮跡地（松山町、 $3335\text{ m}^2$ ）には、JR西日本のグループ会社が、商業施設「甲子園ログリーンプレイス」の開業を発表。

鉄骨2階建て3棟と施設中央には木立のある広場を配置。カフェやコンビニ、ドラッグストア、クリニックなど計11店舗が、11月27日の開業予定（クリニックは2020年）とのことです。

上地図②のNTT社宅跡地（熊野町）について、市の開発指導課に聞いてみましたが、来週末に開発者から概要書が提出される見込み、との情報が得られるにとどまりました。わかり次第お知らせします。

右写真は、3棟目がこのほど完成した甲子園春風市営住宅の南東部空き地（ $1200\text{ m}^2$ ）。

ここには、市が地域密着型特別養護老人ホーム（29床）を誘致する予定で、11月に運営法人を募集します。市が土地を貸し付け（賃借料の減免あり）、建設費については県が補助します。2021年4月開設をめざすとのことです。

## 地域密着型特別養護老人ホームとは……

地域密着型サービスとは、認知症高齢者や中重度の要介護高齢者等が、出来る限り住み慣れた地域で生活が継続できるように、市町村指定の事業者が地域住民に提供するサービスです。

具体的には地域の特性を活かし、その地域に添ったサービスを提供するために、市町村が事業者の指定や監督を行います。施設などの規模が小さいので、利用者のニーズにきめ細かく応えることができると期待されており、その市町村に居住する者が利用対象者となっています。



副議長となって、4ヶ月。  
想像以上の多忙さに半年ぐらいたったような感覚です。ストレスか、食べ過ぎているのが一番つらい…。